

「衛生講習会」の開催について

10月28日にホテル白萩において「衛生講習会」を開催いたしました。

ウイルス感染症の専門家である国立病院機構仙台医療センターの西村秀一先生から、「生衛業者のための新型コロナウイルス対策」のテーマで、感染経路や対策のポイントなどをスライドをもとに分かり易く解説していただきました。

当日は、生衛業者の方など約50人の参加で、皆さん熱心に聴講し、終了後のアンケートでも、「お話を聞き少しホッとしました。正しい知識をもとに対策します」など、全員が参考になったとの感想がありました。

西村先生の講習は、研究成果に基づく見解とのことですが、生衛業にとって大変示唆に富む内容でしたので、その概要をお知らせします。

＜正しく恐れること＞

- 自分→客、客→自分、客→客において誰と誰との間の感染から守るのか。守る相手を明確化することが重要です。何のためにそれをやるのか、それは必要なのか。ひとつひとつ具体的に自分で考えてみましょう
- マスコミ報道や専門家のコメントにも疑わしいものがあります。コロナ疲れにならないようにしましょう。わからないことからくる恐れすぎや、現状への悔りに気を付けましょう
- 新型コロナウイルスによる感染は、ほぼ空気媒介感染（飛沫感染、飛沫核感染、エアロゾル感染）です。食べ物や便からの感染、またコイン等を介しての接触感染の報告例はほとんどありません

＜感染対策の提言＞

- 呼吸による感染を防ぐことが重要です。3密（密閉、密集、密接）は絶対に避けましょう。冬場の感染対策は重要です。南半球の国々のデータから冬場の方が感染者、死者ともに多くなっています。冬は乾燥することから粒子の細かいエアロゾルが増え、呼吸による感染が増えるものと考えられます
- 対策として第一にはマスク使いの達人になりましょう。サージカルマスクでいいですが、隙間なく装着することが重要です。フェイスシールドやマウスシールドは空気感染には役立たず、むしろ変な安心感を与えることが怖いと思っています
- 次に必要なのは室内の換気です。換気扇も活用しましょう。排出口へ向けて扇風機等で風を送れば換気効率が上がります。また、二酸化炭素計を備えて換気を目安とすることも有効です。さらに加湿器なども活用しましょう
- 大阪府知事が先に言いましたが、うがいによる上気道の洗浄も有効です。旅館などではお客さんにまずお茶を勧め、コロナウイルスを胃に流し込むことも有効だと私は考えています

西村先生の講習を踏まえて、それぞれのガイドラインを咀嚼し、今後の対策を行っていただくようお願いいたします。なお、先生からいただいた講習の資料（スライド抜粋版）を掲載しますので、当日受講できなかった方も是非ご覧いただき、各店舗等での対策にお役立てください。

